

事務事業評価（外部評価）の実施について

1 外部評価の視点及び評価基準

(1) 外部評価の視点

視点	ポイント
○事業実施の意義 ～なぜ、事業を実施するのか～	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目的に妥当性はあるか ・課題に対応した事業か ・事業の必要性は高いものか、変化していないか
○事業の内容・手法 ～どのように事業を実施すべきなのか～	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模は見直す必要性はないか ・目的、目標の設定は妥当か ・他の事業への統合はできないか ・事業の効率化や、やり方を見直す必要性はないか ・事業実施主体は適切か
○事業の効果・課題 ～事業実施の効果は得られているのか～	<ul style="list-style-type: none"> ・事業成果がどれくらい上がったのか ・設定した課題は解決できたのか ・事業を実施した結果として生じた新たな課題はないか ・今後の課題は何か

(2) 評価基準

評価	評価基準
継続実施	現状のまま事業を継続していくもの。
改善・見直し	業務の効率化等を図り、事業を継続するもの。
抜本的見直し	事業継続にあたり、事業内容の見直し、予算への反映が必要なもの。
廃止	市の主体事業として、役割が果たされたもの、また、他に委ねることが可能なもの。

2 外部評価の進行スケジュール（予定）

時間帯		所管課	事業名
10:05-10:25	20分	高齢者支援課	評価説明・質疑 高齢者配食サービス事業
10:25-10:40	15分		意見交換及び評価
10:40-11:00	20分	環境保全課	評価説明・質疑 環境学習推進事業
11:00-11:15	15分		意見交換及び評価